



平成18年11月6日

各位

会社名 株式会社メディビックグループ
代表者名 代表取締役社長 橋本 康弘
(コード番号2369:東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理本部長 川井 隆史
(Tel: 03-5510-2407)

当社子会社(株)メディビック・アライアンスが運用する
ファンドの投資先企業に関するお知らせ

当社子会社(株)メディビック・アライアンス(代表取締役社長:小林 光、本社:東京都千代田区)は、韓国におけるPrivate Equity事業の一環として、「メディビック Pre-IPO・コリア・ファンド 1号」(民法上の任意組合、運営者:メディビック・アライアンス。以下「当ファンド」という。)を運営しております。

このたび、11月3日付けをもちまして、当ファンドの投資先企業であるDigital Genomics, Inc.(所在地:韓国ソウル市、CEO:Yun Ho-gwon、以下「Digital Genomics」という。)が、韓国KOSDAQ市場に上場するKBC Corporation Co., Ltd.(所在地:韓国ソウル市、CEO:Ho-Geun Yun、証券コード038460、以下「KBC」という。)に買収されましたのでお知らせいたします。

KBCは、株式交換方式によりDigital Genomicsを100%買収したため、当ファンドが保有するDigital Genomicsの株式はKBCの株式となりました。11月3日をもって、株式交換及びその株式の上場手続が完了し、当ファンドはKBC株式をKOSDAQ市場にて売却することが可能になりました。KBCは、100%子会社という形でDigital Genomicsを所有し、バイオ事業に新規参入することで事業の多角化を図り、企業価値の増大を図ります。

Digital Genomicsは、韓国でDNAチップの開発・販売および解析サービスの提供を行っています。高い技術力を基に自社製品の開発を行う一方、強力な販売網を活かして、海外大手メーカーのDNAチップの輸入・販売も行っており、韓国におけるDNAチップ市場でトップシェアを維持しています。また、国立がんセンターや製薬企業と共同で肺がんや白血病などの疾患を対象とした診断チップの開発も行っています。

韓国株式市況は、韓国総合株価指数がアジアの主要株価指数のうち 2005 年年間上昇率トップになったことや、韓国 KOSDAQ 市場の上場要件変更により赤字企業でも IPO 可能になったことなど、投資環境が非常に良好であることから、当社は韓国のプライベートエクイティマーケットに注目し、積極的に投資を進めてまいりました。今年 1 月に投資先の CrystalGenomics, Inc. の IPO に次いで、9 月には Bioheart Korea Inc. の合併による上場など、順調に投資先が上場しています。

当ファンドは、早期のキャピタルゲイン獲得を目的とし、韓国内のベンチャー企業に投資するファンドとして今年 1 月に設立しました。メディビック・アライアンスは今後、これまでの韓国におけるトラックレコードを活かして、30 億～50 億円程度の韓国ファンド立ち上げを予定しております。

なお、当社平成 18 年 12 月期（平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日）における連結当期業績見通しに与える影響については現時点では未定であり、現段階での業績予想に変更はありません。業績見通しに変更される場合は速やかにご案内申し上げます。

< Digital Genomics の会社概要 >

商号 : Digital Genomics, Inc.
所在地 : Rm 805, Namsung Plaza, 345-30 Gasan-dong, Geumcheon-gu, Seoul
153-782, Korea
代表者 : Yun Ho-gwon
設立 : 2000年7月
資本金 : .11.9億ウォン（約1.5億円）
事業内容 : DNAチップの開発・販売、解析受託サービス

< KBC の会社概要 >

商号 : KBC Corporation
所在地 : Lexus B/D 6F, Seongsu 2-ga 3dong 299-239, Seongdong-gu, Seoul, Korea
代表者 : Ho-Geun Yun
設立 : 1985年12月
資本金 : 202億ウォン（約25.0億円）
事業内容 : クレジットカード向けシステム等の開発

以 上